



梅雨に向けての準備はできていますか？ ～靴・鞆・傘の試験のご紹介～



5月に入り暖かい日が続いておりますが皆さんは梅雨に向けて準備はできていますか？昨今の異常気象で集中豪雨やゲリラ豪雨が増えてきており、携帯性の良い折りたたみ傘、防水性の高い靴や鞆のニーズが年々高まっています。今回はそんな梅雨に向けたアイテムである傘や防水グッズの試験についてご紹介致します。

傘の耐漏水性試験(旧JIS S 4020)

傘の上部から130cmの位置より20mm/時間の降雨量(強い雨)で20分間降雨させ、内側の伝水の有無、水滴の数を確認する。



降雨量20mm/時間

降雨量20mm/時間は予報用語で「強い雨」と定義され、どしゃ降りと感じるくらいだポー！



傘の回転耐久性試験(ボーケン法)

傘を開いた状態で手元を試験機に取り付け、40往復/分の速さで中棒を180度ずつ回転させ、破損の有無を確認する。
(長傘:100往復、2段折傘:40往復、3段折傘:20往復)

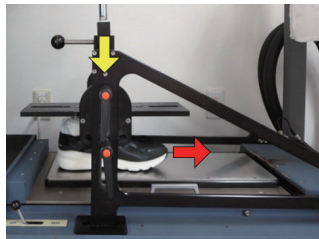
コンパクトな傘は携帯に便利だけど、傘骨のつなぎ目が多くて強度が不安だケン！



靴の滑り抵抗試験(ISO13287/JIS T 8106)

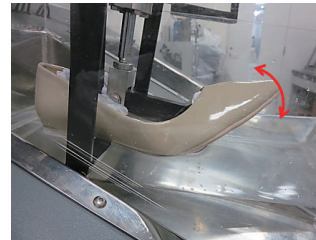
靴を試験機に取り付けた状態でステンレス板上に設置する。ステンレス板を水で濡らし、靴に規定の垂直力を加えた状態で床面を動かした時に生じる水平力から摩擦係数を求める。

雨の日は滑りやすくなるから滑りにくい靴だと安心！摩擦係数が大きいほど滑りにくいケン！



靴の耐水性試験(ボーケン法/STM505)

靴を試験機に取り付け、靴が屈曲する部分の靴底接着面から5mm上まで水に浸し、屈曲動作を20000回行い、内部への水漏れを確認する。

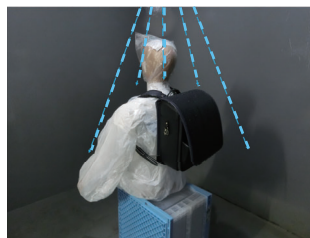


雨の日に歩いていると、靴の屈曲により靴底の接着面が開いて水が侵入することがありますわ！



カスタマイズ試験 / ランドセルの耐漏水性試験

マネキンに鞆を取り付け、上部から130cmの位置より20mm/時間の降雨量(強い雨)で20分間降雨させ、内側の水濡れを確認する。

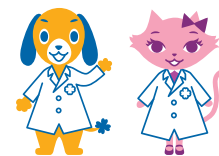


降雨量20mm/時間

突然の雨でも鞆に防水性があれば安心だポー！



ボーケンではJISや業界基準などの一般的な試験だけでなく、お客様のご要望に応じたカスタマイズ試験も行っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

生活産業資材事業本部

☎ 03-5669-1382

■東京生活用品試験センター

〒135-0001 東京都江東区毛利1丁目12番1号

☎ 06-6577-0124

■大阪生活用品試験センター

〒552-0021 大阪府大阪市港区築港1丁目6番24号